

# 川の中の生きもの観察 (魚、エビ、ヤゴなどの水生昆虫など)

川の生きものの採取や観察を通して、命の大切さや自然環境と人間関係の関わりを学びます。

## ①スケジュール・活動内容

基本的なスケジュールを紹介しています。学校のご都合に合わせてスケジュールを調整いたします。

時間	活動内容
10min	くつの履き替え
5～10min	活動説明、注意事項など
40min	生きもの採取 班または個人で採取活動
5min	集合（捕まえた生きものを持って）
20～30min	生きものの説明や観察、メモなど まとめのお話・生きものを川にかえす 終了 あいさつ
15min	くつの履き替えほか 帰る準備

### ＜活動の注意＞

- ・水深が深い場所に行かない。
- ・石の上にはのらない。
- ・草むらにむやみに入らない。
- ・暑い季節の水分補給。

## ②活動のようす、服装、持ち物など



濡れてもよい運動靴



生きものを入れるバット



草かげに網を入れる



石の下に網を入れる



見つけた生きもの紹介



つかまえた生きものを観察する

## ③準備物

＜児童＞ぬれても汚れてもよい靴（サンダルは不可）、手足拭き用のタオル、帽子、筆記用具、飲み物、必要であれば着替え

＜学校＞救急用具、タモ網、水槽またはバッドなど採取および観察に必要な物

＜貸出できるもの＞タモ網 50 本、バット 15 個、プラスチック製の水槽 2 個

## ④注意事項

・膝下の水深エリアで活動しますが、たまにずぶ濡れになる児童がいます。

・虫網は川の生きもの採取には適しません。

## ⑤活動に適した時期

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月

5月下旬～10月中旬（水温が低くないこと）  
※当日晴れていても水量が多く、流れが早い場合は活動できません。

最も適した時期

水温を確認して活動が可能か判断する

⑥おもに見られるもの



ヨシノボリ



カワムツ



スジエビ



サワガニ



コヤマトンボのヤゴ



カワニナとホタルの幼虫

⑦事前・事後学習のご提案

学習を深めるために、学校で事前や事後にお話することができます。(30～45分間)

<内容>

- ・その川の特徴
- ・生きものの特徴と捕まえるポイントの紹介
- ・指標生物 (川の水質を調べる方法の一つ)
- ・生物多様性の観点から私たちができること



河川の指標生物



上流・下流の様子

⑧資料の貸出、情報提供など

<学習資料の貸出>

- ・西宮の川を学ぶ 指導者用資料集 (指導者向け) 5冊
- ・「にしのみや 川となかよしブック」(児童向け) 40冊

<『西宮市環境学習サポート資料』に入っているもの>

- ・「にしのみや 川となかよしブック」(児童向け)
- ・川の生きものを調べよう 水生生物による水質判定 (児童向け)
- ・ウォッチング! 水辺の自然フィールドノート
- ・「川のいきものをみつけてみよう!」(ワークシート)



「にしのみや川となかよしブック」(児童向け)



川の生きものを調べよう 水生生物による水質判定 (児童向け)



ウォッチング! 水辺の自然フィールドノート



「川のいきものをみつけてみよう!」

「いきものウォッチング・川」